

河北地区

おがつ夏まつり!!

8月6日(日)、メディアシップを会場に、「2006サマーフェスタ・イン・かほく」が開催されました。

今年は午後からの開催となりましたが、梅雨明けの暑い夏空の下、恒例のピッコ大会では、お目当ての賞品を狙ってたくさんの子ども達が集まったほか、ちびっ子等郷土芸能や婦人団体芸能ショーが行われ、たくさんのお客が訪れました。また、夜にはまじりのフィナーレとして大輪の花火が夜空を飾り、かほくの暑い夏を彩りました。



▶早くピッコにならないかな

友好都市山形県河北町 スポーツ少年団交流事業開催

7月22日(土)、追波川河川運動公園で、友好都市山形県河北町と市のスポーツ少年団との野球交流試合が行われました。

市から参加したのは門小ガッツ、飯一小かしわクラブの2チームで、試合が終わった後は、白浜海水浴場で地引網体験を楽しみ、友情の輪を広げました。



▲浴衣で演奏する飯中吹奏楽部のみなさん

まちの話題

雄勝地区

ふるさとのおがつ夏まつり!!

今ではお盆の恒例行事として定着した「おがつ夏まつり」が、今年も8月14日(月)に開催されました。

市長、澤村実行委員長などのあいさつの後、雄勝総合支所から雄勝海洋センターまでのパレードでは、約200人の参加者たちが、しっとり「おがつ節」、元気に「タキオソーラン」を踊り、帰省した観客の方たちや地元の方を楽しませました。また、ハッピー仮装など、それぞれに工夫を凝らした衣装でふるさとの夏を



盛り上げました。

夜には雄勝湾において、納涼花火大会が行われました。花火が上がるたびに、観客の方たちから大きな歓声が上がリ、過ぎ行く夏の一夜を堪能していました。





このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報などを紹介します。

河南地区

宮城県北部連続地震から 3年が過ぎ

7月30日(日)、河南地区で、総合防災訓練を実施しました。これは、平成15年7月26日に発生した宮城県北部連続地震から3年が過ぎ、被災体験を長く記憶にとどめ、貴重な教訓として生かしていくために行われたものです。

当日は、午前9時30分、宮城県沖を震源とするマグニチュード8.0と推定される地震が発生し、多数の建物が倒壊、ライフラインも甚大な被害が生じ、大規模な火災を想定した訓練が行われました。

訓練主会場となった鹿又小学校では、地域住民約950人が、消防署員や消防団員から指導を受けながら、消火器で火を消したり、布を使っての止血法を実践し、行政や消防で対応できない場合の自助、共助による初期活動に取り組んでいました。



桃生地区

川の楽しさを学ぶ

「北上川イカダ下り」に80人が参加



8月6日(日)、川の自然環境の保護と観光資源の有効活用を目的に、旧北上川の脇谷船着場から植立山公園船着場の間で「北上川イカダ下り」が行われました。

これは、水と緑の環境フォーラム・ものう(会長・白石定利さん)が行ったもので、市内の小学生など約80人が参加しました。

参加者たちは、自然このふれあいを通して、自然のすばらしさや楽しさを学んだようです。

子どもたちとの楽しいひととき



七夕に近い7月14日(金)、桃生地区に新しく誕生した子育て支援サークル「チップとデイル(会長・及川恵美さん)」が、ご高齢の方々とともに七夕会を行いました。

ご高齢の方々は、七夕の人形劇を見たり、歌を一緒に歌ったりして、子どもたちとの楽しいひと時を過ごしました。